

	課題	解決のための手だて
国語	<p>【領域：書くこと】</p> <p>○自分の考えとそれを支える事例との関係を明確にして書く。</p> <p>【領域：読むこと】</p> <p>○叙述をもとに文章の内容を捉える。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 文章を書く場面において、自分の考えを支える理由を述べるための「なぜなら～」 「その理由は」、事例を説明するための「例えば」 「事例を挙げると」などの表現を用いることができるよう指導する。 全文シートを使用し、文章全体の組み立てや、段落の中心、相互の関係などについて叙述に沿って考えられるようにする。また、主語と述語の関係、修飾語と被修飾語の関係を捉え、語句の役割や語句相互の關係に気を付けて文章がどのように組み立てられているかを理解し、読み深められるようにする。
社会	<p>【見方・考え方：位置や空間的な広がり】</p> <p>○東京都の位置や地形、主な産業、交通網などに着目して地理的環境の特色を考え表現する。</p> <p>○47都道府県の名稱と位置を理解する。</p> <p>【見方・考え方：事象や人々の相互關係】</p> <p>○人々の健康や生活環境を支える、飲料水、電気、ガスを供給する事業と廃棄物を処理する事業について理解し、それらの果たす役割を考え、表現する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 地図帳や ICT を活用し、地図上で自分の県の位置を言い表したり、白地図に地形や産業の分布、交通網などを書き表したりするなどの活動を十分に行うことで、東京都の地理的環境の特色を考え表現できるようにする。 47都道府県の名稱を身に付ける際、国語科と連携し、漢字の表記に慣れるようにする。 見学・調査して学んだことや、資料や ICT などを活用したりして必要な情報を手に入れ、そこから考えたことを表現する技能を身に付けることができるようにする。 実際に見学に行くことができない施設については、関連事業を行う方々による出前授業を取り入れることによって、実感を伴った理解になるようにする。 学習を理解する上で大切な用語を全体で共有できるようなまとめ方や振り返りを工夫する。

算 数	<p>【領 域：数と計算】</p> <p>○（ ）を用いた乗法について、式の意味と場面を結び付ける。</p> <p>【領 域：図形】</p> <p>○身近にあるものの長さを推察して適切な単位を扱うことができる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・問題場面を乗法の式に表す際、乗数と被乗数に着目し、立式するように指導する。その際、ノートに図や絵で表現することにより、式は思考の筋道を表現する手段としても用いられることに気付かせ、式のをさを捉えられるようにする。 ・面積を求める学習において、広さについての感覚が培えるよう身の周りのものの面積を実際に調べ、測定を経験を積み重ねることを通して豊かな量感を養う。
理 科	<p>【領 域：生命・地球】</p> <p>○実験器具の正しく安全な使い方を身に付ける。</p> <p>【領 域：物質・エネルギー】</p> <p>○身近なことから問題を見出し、調べる方法を考え、その結果を比較して共通点や差異点を見つけ、問題を解決する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・生物に関する学習では、実際に植物を育てたり、虫眼鏡を使って観察を行ったりするなど、実際に実物に触れる場面を多く設定し、その中で観察方法や器具の正しく安全な扱い方を身に付けることができるようにする。 ・既習の学習内容や実験結果、生活経験等を関連付けながら問題を解決する過程を丁寧に行う。特に、考察については結果を比較して共通点や差異点を見出す時間を設定し、考える視点や書き方について指導し、自分の考えを表現できるようにする。